



# ゆくて遥かに

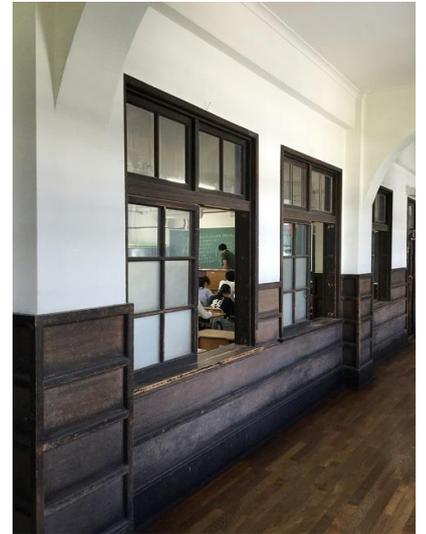
令和元年 9月24日 (火)

第75号

長野県松本深志高等学校長

## 中間考査と秋の放課後補習 (9月18日~20日、9月12日~11月22日)

授業(予習・復習を含めて)と定期考査の繰り返しのよって学力の基礎を培っていく、これが学校教育の基本です。では、学力とは何か。学校教育法では、学力を構成する三つの要素として、①基礎的な知識・技能、②思考力・判断力・表現力等の能力、③主体的に学習に取り組む態度、と示されています。また、高大接続改革の答申の中では、高校における学力として③に多様性や協働性も加えて書かれています。さらに、新しい学習指導要領(高校は令和4年度から年次進行で実施)においては、学力の三要素を「社会で自立して活動していくために必要な力」という観点から捉え直して、高校教育を通じて、①これからの時代に社会で生きていくために必要な「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度(主体性・多様性・協働性)」を養うこと、②その基盤となる「知識・技能を活用して、自ら課題を発見しその解決に向けて探究し、成果等を表現するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力」を育



17日、土曜授業の日の午後の補習

むこと、③さらにその基礎となる「知識・技能」を習得させること、としています。これまでは、知識・技能に偏り気味だった学力観ですが、これからの変化の激しい時代に必要な資質や能力を育むためには、こうした学力の三つの要素をすべて踏まえて、授業や考査を行っていく必要があるということです。さて、中間考査の手応えはどうだったでしょうか……。一方、3年生対象の秋の放課後補習が、先々週の木曜日から始まっています。大学入試の問題も、次第に学力の三要素を意識したものに変わりつつありますが、難関を突破していくためには、物量作戦もまだまだ必要な状況ではあります。



## 考査明けのワックスがけ (9月20日)

テストから解放された日は思いっきり遊びたい、と高校生の頃は思った(実践した)ものですが、中間考査の最終日の午後、恒例のワックスがけが行われました。今回の対象は、2棟3階・4階の各ホームルーム教室と会議室と階段、3棟の階段、0・2・3棟の各研究室と会議室。厚生委員と志あるボランティアが中心となって作業は進められましたが、ホームルーム教室はクラスの全員でワックスがけを行うこと



になっています。今回は1棟が入っておらず、労力的にはまだ若干楽ですが、ほうきやモップではほこりやごみを隅々まで取り除き、雑巾で水拭きをし、取れない黒い汚れはヘラやスポンジで擦って落とす、容易ではありません。自分たちで使う教室は自分たちでキレイにする、これも自治の基本です。(自身の反省も込めて)



